



夏の川遊び



ゴミの不法投棄

手形プレート作りを楽しむ園児たち＝ 小野幼稚園

『揖斐川に想いを込め手形プレート作り！』

この 小野幼稚園児が陶芸制作体験

揖斐川右岸堤防に建設中の階段護岸に設置する陶器の手形プレート作りが1月19日（月）、大垣市立小野幼稚園（同市小野）であり、園児35名が粘土を使って、“世界でただ一つだけの作品づくり”に励んだ。

地元園児の作品を護岸に取り付けることで地域に愛される川にしようと、国土交通省揖斐川第二出張所が試行的に取り組み、工事を請け負う近藤建設（株）（海津市平田町）が協力した。手形に「自分たちの手で川を守る」という決意と、「ゴミのポイ捨てをしないで！」という意味を込めた。

冒頭、挨拶に立った、細野貴司揖斐川第二出張所長は写真により、「近くを流れる揖斐川は、夏場を中心に水遊びや魚釣り、花火大会などのレクリエーション活動が盛んに行われ、市民の憩いの場となっている。しかし、その一方で、河川敷には多くのゴミが捨てられ川が汚されている」と語り、「自然を大切に、いつまでも綺麗な川にしていこう！」と河川愛護の必要性を訴えた。

園児らは、仲良く肩を並べ、羽島郡岐南町に陶芸工房を構える「^{らくら}楽蔵」の講師の手ほどきを受け、縦18㍍、横23㍍の平たくした粘土に自分の手形を力を込めて押し当てた。その後、粘土細工で思い思いの模様や飾り付けをして、最後に自分の名前も刻み込んだ。プレートは乾燥後、^{ゆうやく}釉薬を塗って焼き上げ、約1ヶ月間ほどで完成する。今年3月の卒園式間近に、現地の階段部分に取り付け、保護者や地域の人たちに見てもらおう予定。

■川は誰のものか？ 誰のものでもなく、皆のものだから大切にしたい！



清らかな流れ、いつまでも・・・



■人気アニメキャラクター“妖怪体操第一” 会場が熱気に包まれる！

手形プレートの制作前に、体と心をほぐすために、揖斐川第二出張所の後藤有佑事務係長が準備体操を担当した。

子供たちに高い人気を誇るアニメキャラクターと化した後藤さんは、“妖怪体操第一”をリズムカルに歌い上げ、笑顔で飛び跳ねる子供たちと一緒に、決めポーズを披露した。



■作品づくりの報告を、是非、家族の方々と・・・

最後に挨拶した近藤建設（株）の近藤延彦代表取締役は、「今日は、みんなと楽しい作品作りができて嬉しかった。今日のイベントの事を、是非、家族の人に話して欲しい。作品がどの様に焼き上がるかを楽しみに、次回、3月に揖斐川河川敷で、皆さんと再会できる日を心待ちにしています」と締めくくった。



個性豊かな作品を作り上げる園児たち

川の大切さを伝える「手形」、園児の心に残る

今回、粘土細工による手形プレートづくりを体験した園児たちは、「楽しかった。鳥や卵も作ったよ。お星さまがうまくできたよ。」と大変満足そうに笑顔で話してくれました。園児たちは自分の手で作った作品が揖斐川堤防に一生残ることで、花火大会などで現地を訪れた際、当時のことを思い出し、川を愛する気持ちは決して忘れないでしょう。手形に「自分たちの手で川を守る!」「ゴミのポイ捨てノー!」「危ない所には立入らない!」を表現するアイデアは大変素晴らしいと思いました。

将来を担う園児たちに夢と希望。そして、最高のプレゼントを思案して下さいました、国土交通省や近藤建設（株）の皆様にご感謝申し上げます。本当に有り難うございました。



大垣市立小野幼稚園
河村 千賀子 園長先生

園児たちの未来に、安心・安全な環境を残したい!

初めに揖斐川第二出張所の皆さんによる「身近に流れる揖斐川を自分たちの手で守っていくという姿勢」等について園児たちに分かりやすく説明していただき、続いて、妖怪体操第一により、園児の心を「グッと!」掴んだことで、スムーズに進行することができました。

今回、園児たちに飾り付けまでを体験してもらったのですが、その一生懸命な姿はまさに「天使」そのもの。「こんなにもキラキラした目ができるものなのか!」と感動しきりでした。こんな園児たちの未来に、安心して暮らせる、また安心して遊べる豊かな環境を残していくことが、我々建設業に課せられた使命として、今後とも日々施工に邁進していきたいと思っております。

最後になりますが、この手形作り体感会を開催するにあたり、ご尽力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げますとともに、後日予定している「手形プレート現場取付イベント」も精一杯努めさせていただきますので、今後とも宜しくお願い致します。



近藤建設（株）
監理技術者 鷺野 美則

